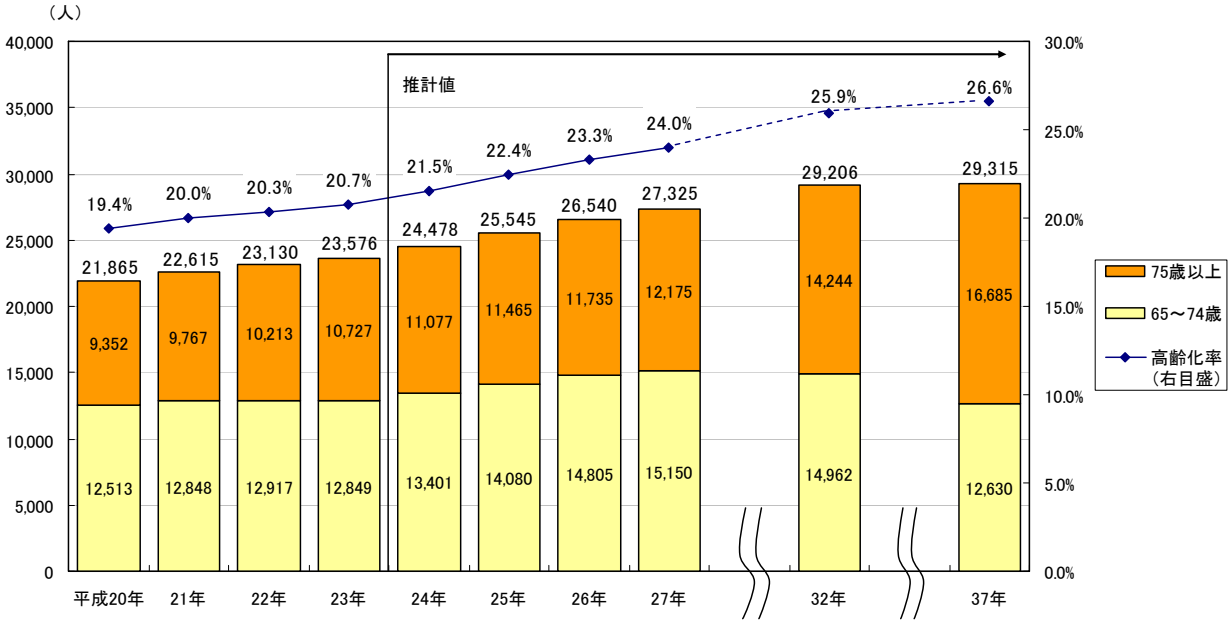
第３章 将来の高齢者像

１．高齢者人口の将来推計

高齢者人口は、75歳以上の高齢者数の増加が顕著で、平成23年の23,576人（うち75歳以上10,727人）が平成26年には26,540人（同11,735人）、団塊の世代が75歳以上になる平成37年には29,315人（同16,685人）になるとの推計結果となっています。

高齢化率も、平成23年の20.7%が平成26年に23.3%、平成37年には26.6%になるものと見込まれています。後期高齢者比率も、それぞれ9.4%、10.3%、15.1%と、大幅に上昇することが見込まれます。

図表　高齢者人口推計結果



資料：人口推計結果（各年10月1日時点）

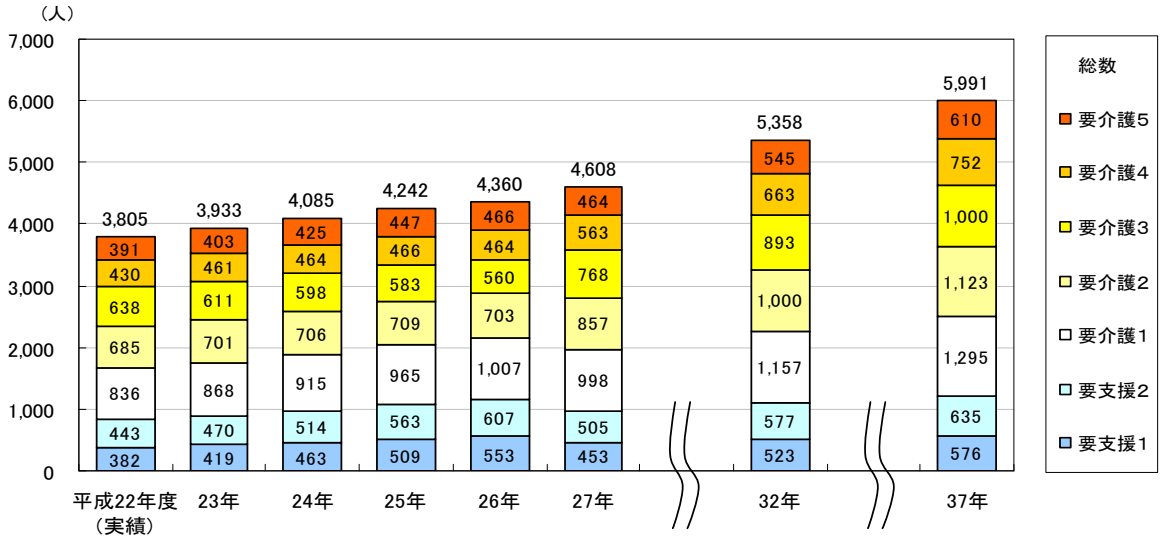
※平成20年～23年は、住民基本台帳・外国人登録の10月1日時点

2．要支援・要介護認定者数の将来推計

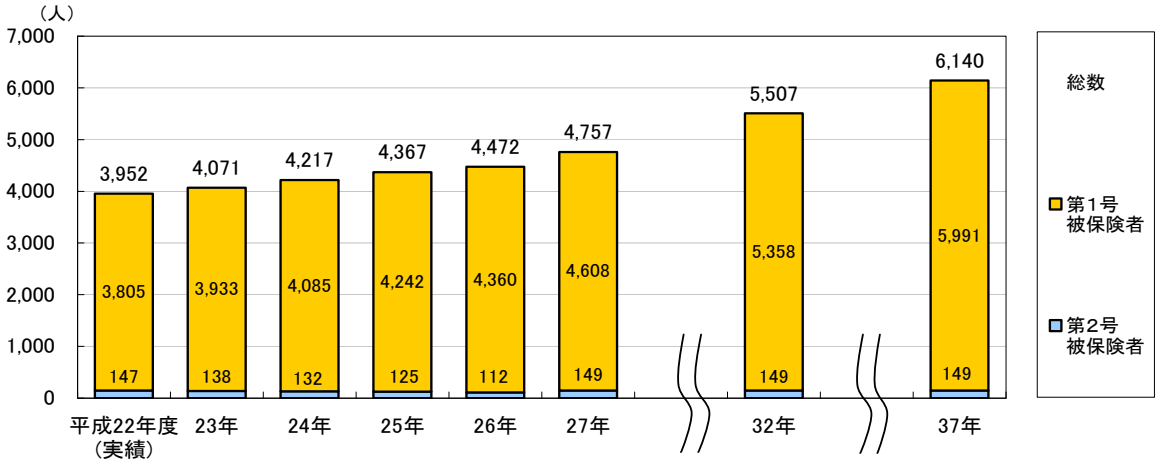
平成22年の性別・年齢階級別認定率に、性別・年齢階級別の将来推計人口を乗じることにより、要支援・要介護認定者数の推計を行いました。

それによると、今後高齢者人口が増えるとともに要支援・要介護認定者数（第１号被保険者）は増加し、計画最終年度の平成26年には4,360人、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には5,991人に達するとの推計結果となっています。

図表　要支援・要介護認定者数推計結果（要介護度別、第１号被保険者）



図表　要支援・要介護認定者数推計結果（総数）



資料:平成22年度は3月末実績値。23年度以降は人口推計結果などから推計（各年10月末時点）

3．目標設定に向けて

国の指針に基づき、介護保険施設の重度者割合を以下のように設定しました。

	平成23年度（見込み）	平成26年度（目標）
介護保険施設の利用者に対する要介護４・５の割合	54.7%	70%以上